

令和5年度

# 校長室だより7月号 No. 4

宝達志水町立押水第一小学校 R5.7.19

## 夏休みを迎えるにあたって

空の青さがひときわ眩しい季節となってまいりました。7月に入って暑さが一層厳しい日が続いたり、一転して大雨に見舞われたりすることがありましたが、児童の体調・安全管理に充分留意しながら、1学期末を迎えたいと存じます。

さて、いよいよ21日より夏休みが始まります。保護者の皆様には、これまで様々にご支援・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。子どもたちは、この1学期の間、今年度から新たに掲げられた学校教育目標「主体性 協働 感動・感謝」のもと、毎日の学校生活を大切に送ってきました。対話を通して友だちとかかわり合いながら学習に取り組んだり、児童会活動や縦割り班活動で自ら考えて行動したりしてきたことで、各教科等における学習内容の定着や、思いやりや社会性といった内面における成長が育まれてきたと思っています。習得の度合いやこれから解決すべき課題については、一人一人それぞれ違いはありますが、ご家庭では、20日（木）の懇談会で各担任よりお渡しする「通知表」を活用しながら、ぜひ、お子さんの頑張ったことに焦点を当てて、たくさん褒めてあげてほしいと思います。その上で、お子さんと一緒に夏休みにやるべきことを確認し、夏休みのめあてを持たせていただけたらと思います。また、定期的にできる家の手伝いを決めて取り組んだり、長い休みだからこそできることにぜひ体験・挑戦したりしていきたいものです。子どもたちにとって、充実した意義のある夏休みとなるよう心より願っております。

一方、夏休み中は、気持ちの面において開放的で緩みがちになります。思わぬ事故にあったり怪我をしたりしないよう、お子さんへの注意喚起のお声かけをお願いいたします。さらに、夏休みの終盤は、2学期に向けて生活リズムを整えていくよう、ご家族皆様のご協力も併せてお願いいたします。

2学期始業式は、9月1日（金）です。子どもたちが、元気な明るい笑顔で登校してくることを楽しみにしています。



### 速報!! 第39回 石川県小学生陸上競技大会

7月17日（月）に、石川県西部緑地公園陸上競技場で、「第39回石川県小学生陸上競技大会」が開催されました。本校児童におきましては、以下の2名が見事、入賞をいたしました。

男子 1000m 第3位 6年 南谷 一斗

男子 100m 第6位 6年 山本 琉生

県大会入賞おめでとうございます。

## 夏休みに向けて ～生活習慣を整えよう～

子どもたちにとって待ち遠しい夏休みが近づいてきました。1ヶ月以上学校が休みになり、家庭での生活時間が多くなります。夏休みの期間は、普段できない旅行や様々な体験活動ができる貴重な時間である反面、意識していないと生活環境が乱れてしまうこともあります。そこで、夏休みに向けて次のことに気を付けて生活してほしいです。

### (1) 起床就寝時刻を変えないようにしましょう

学校が休みになってもできるだけ普段の生活サイクルを変えないようにしましょう。朝起きてから、寝るまでの一日の基本的な活動の流れをお子さんと一緒に確認しておくといいです。

### (2) 体を動かす時間をつくろう

長期休暇になると子どもたちの運動量が減ってしまうことがあります。熱中症の心配のない日には、意識的に外で遊ぶなど一日の中で体を動かす時間をつくりましょう。地域などで行われている体育的なイベントなどに参加してみるのも身体を動かすよい機会となります。

### (3) 安全に気を付けよう

毎年、子どもたちにはこれが一番大切だとお話しすることです。長期休暇中は子どもたちが一人で過ごす時間が増えます。とにかく「安全第一に過ごしてほしい」ということです。交通事故、遊びの中での怪我、出かけているときのトラブルへの遭遇など、子どもたちに危険が迫る機会が多くなる時期です。お子さんの外出時など、安全に気を付けること、何かあったときにどのように家の人と連絡をとるかなど、十分ご家庭でご指導ください。

学校より「夏休みの生活」も配付されます。保護者の皆様にもご一読の程よろしくお願ひします。

## 通知表の見方について

「よくできた」「できた」「もう少し」は・・・観点別絶対評価です

- ① 学習目標に対して、一人一人の達成度を見る評価をしています。
- ② 各学年の学習目標や内容、評価規準は、文部科学省が告示する学習指導要領を踏まえて作成しています。
- ③ 児童一人一人の学習状況を、きめ細かく分析的に正確にとらえるために、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点に分けて評価しています（国語はこれに書写が加わります）。
- ④ 「よくできた」は、学年目標を十分に達成し、さらに発展的にできている状態  
「できた」は、学年目標をほぼ達成している、概ね満足している状態  
「もう少し」は、もう少し努力すると学年目標に達する状態 です。



観点別の達成状況を確認して、お子様をほめたり認めたり、さらに励ましたりしていただければと思います。

## 科学教室・算数教室

今年も、5・6年生を対象に、理科教育・算数教育に造詣の深い外部の先生をお招きして、科学教室と算数教室を開催することとなりました。宝達志水町独自のプログラムで、1年間にそれぞれの先生に3回ご来校してもらい、教室を開いていただきます。

子どもたちに理系の学習の面白さを味わってもらい、興味関心を高めてほしいとのねらいから、科学教室は2年前から、算数教室は昨年からはまりました。

どちらの教室も、子どもたちは追究する面白さにあふれた表情で学んでいました。

### 科学教室 ～木谷誠治先生～

今回のテーマは「紙飛行機」で、6年生は6月15日、5年生は6月20日に、それぞれ体育館で実施いたしました。

子どもたちが、よく折る通常の紙飛行機から始まり、県鳥を模した「いぬわし」紙飛行機、超軽量の翼のみの紙飛行機、翼が輪になっているリング状の飛行機、円柱状の鯉のぼり型紙飛行機、自分のところに戻ってくる十字型のブーメラン飛行機と、次から次へと紙飛行機が紹介され、子どもたちは夢中で製作しては飛ばしていました。

製作の中で「重心」「滑空」「揚力」などの概念を自然と学んでいき、どうすればより遠くへ飛べるのかを考えながら活動していく姿は、まるで人類が大空への憧れを抱きながら飛行機を考案していった歴史を追体験しているようでした。

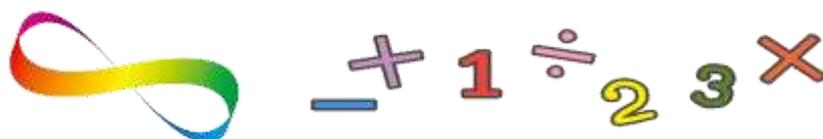


### 算数教室 ～中西清二先生～

算数教室は、5・6年生ともに6月27日に行われました。

6年生は、昨年度の算数教室で取り上げた「紙テープを輪にして切るとどうなるか」の発展で、紙テープを何回かねじったり、何等分かしたりして切るとどうなっていくかを追究していく内容で、そこに規則性を見出したり、そこから生まれた新たな疑問をさらに追究したりしていきました。

また5年生は、算用数字の成り立ちを学んだあと、マッチ棒で作った等式を1本だけ動かして別の等式を作る内容でした。等式の右辺と左辺の両方の変化を同時に考えていく必要があり、物事を多面的・複眼的に見たり考えたりしていく力も養われるのではないかと思います。



## 7月の学校の様子

### クリンクル見学(4年生)



### 生活科「水遊び」(1年生)



### 野菜の収穫(2,3年生)



### 防犯教室(羽咋警察署・北川尻交番)



### 交通安全マスコット贈呈(交通安全母の会)

